

①フォームのタイトル

②メインメニュー。現在、未使用です。

③サブメニュー 1

ファイル指定：データのファイル名指定を行えます。

Pick：右クリックで要素を選択。現在、実験的な機能で、使い道はありません。

④サブメニュー 2

読込縮尺：CSV ファイルでの座標値は、mm 単位の実寸ですが、それを内部に読み込み場合に正規化するため、縮尺で割った値にしています。デフォルトで 500。操作上は、ほとんど関係はありません。

初期化：ファイル読み込み時にマスタデータを初期化するかどうかを設定します
自動更新：2 秒おきにデータのファイルが更新されているかどうかチェックを行い更新されていれば再読み込みを行います。

再読込：データのファイルを際読み込みます。

⑤マスタリスト

同一の「図形種別」「名称」「名称補」「太さ名」で、マスタファイルを作成し、それをコントロール用にリストとして表示します。

表示：クリックすると **onoff** 切り替えを行います。

直径：線の直径名を表示します。

色彩：色の表示と設定を行います。

名称補：名称補を行います。

⑥図形リスト

マスタリストで選択された要素のリストを行います。点名称と座標値を表示します。

⑦サブメニュー 3

マスタリストの全表示（全項目に **on** を設定）、マスタリストの全非表示（**off** を設定）

⑧サブメニュー 4

現在未使用

⑨情報

システムおよび図形の表情を表示

⑩システムメッセージ

現在未使用

⑪ 3D 図形

左クリックしながら移動

カメラの視点を変更します

トラックボール

拡大縮小（カメラの視野の変更）を行います

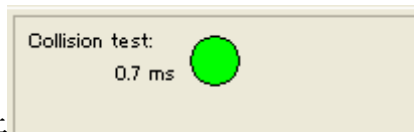
右クリックしながらの移動

図形の移動（原点の変更）を行います。ただし、正面に対しての変更ですので、違和感があると思います。

Pick モード（③）では、図形のクリックと移動を行います。

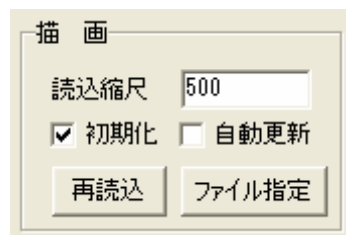
Ver1.2.0 より

衝突判定



左上 図形データに衝突設定がなされていれば、衝突判定を自動実施。衝突があれば、赤い丸になります。

描画



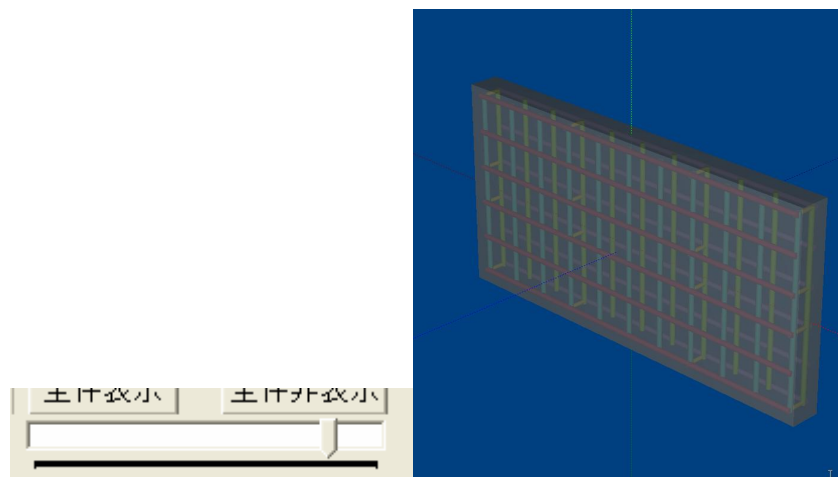
初期表示の関係で、図形座標値は、内部で、正規化しております。読込縮尺は、正規化のパラメータになります。

図形情報の表示

点バッファ数:0 線バッファ数:132 円,円弧バッファ数:0 文字バッファ数:0 面,多角線バッファ数:295 寸法バッファ数:0 範囲バッファ数:0 マスタ数:13
名称1:S3 名称2: 直径名称:D10 直径:10 点名称: X:1980 Y:25 Z:1730 点名称: X:1980 Y:1115 Z:1730 衝突:0 行:235
名称1:S6 名称2: 直径名称:D10 直径:10 点名称: X:115 Y:135 Z:2045 点名称: X:1985 Y:135 Z:2045 衝突:0 行:407

図形をクリックすることで、図形の定義が表示されます、最後の行は、図形ソースの CSV ファイルの行定義位置になります。

面の半透明



トラックバーにより、面等のマテリアルに対して、透明度の設定を行うことができます。

個々の図形の移動



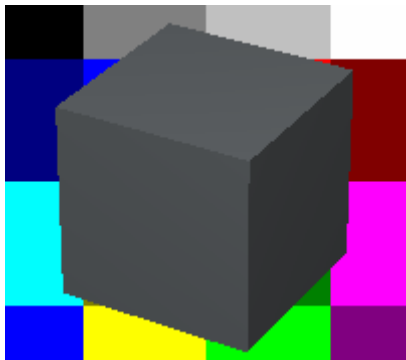
Pick チェックボックスをオンにすることで、マウス右クリックで、個々の図形を移動できます。また、**SHIFT** キーを押しながらのマウス左クリック移動で、クリックした個々の図形を移動できます。移動後の結果は、図形情報等には反映されません。

マテリアル

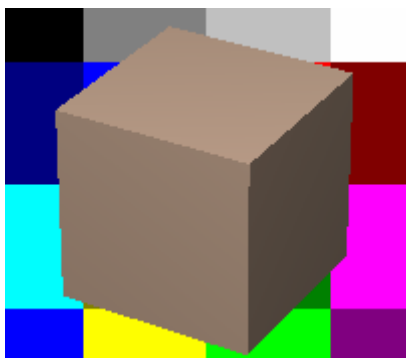
マテリアルの設定を可能なようにしていますが、現在、うまくいっていません。ので、固定名です。

標準で用意されているマテリアル名を下記に列挙します。

MatSurface



MatInner



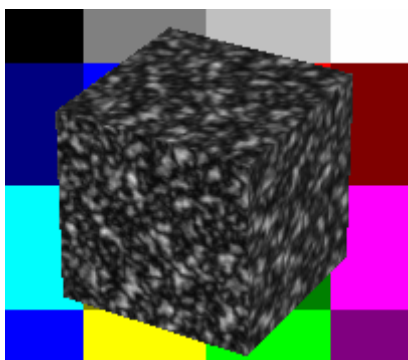
detailmap



rawwall



n oise



walkway



